

広報 おんな

9

No.447

うんなまつり サンゴの村宣言



おもなトピックス

- ▶ しまくとぅば語やびら P3
- ▶ 村史編さん室だより P4-5
- ▶ うんなまつり、サンゴの村宣言 P8-9
- ▶ 中学校統合推進室通信 P11
- ▶ 体育大会結果 P16



村のホームページはこちら
<http://www.vill.onna.okinawa.jp>

第13回しまくとぅば語やびら大会

うんなまつり2日目の7月29日、村コミュニティセンター大ホールにて『第13回しまくとぅば語やびら大会』が開催されました。

村内5校の児童・生徒と一般の部から8組の出場者が、各々の「しまくとぅば」で、それぞれ個性あるスピーチを行っていました。その他にも、お手玉を使った童歌のアトラクションや、ミス恩納ナビーによる『琉歌大賞』のPRなどもあり、会場に駆けつけた多くの観客の皆様楽しんでいただきました。

本大会の最優秀賞は、児童・生徒の部から山田中学校1年生 糸数美緒樹さん、一般の部から吉山盛守さんが選出されました。今回、出場いただきました発表者の皆様、並びに関係者の皆様、ご協力ありがとうございました。来年度も開催予定となっておりますので、多くの皆様のご参加お待ちしております！



糸数 美緒樹さん

吉山 盛守さん

会場の様子

ライオンズクラブ役員 村長表敬

7月26日、恩納ライオンズクラブの新役員らが長浜村長を表敬訪問しました。

大濱会長は「今年度もこれまで継続している献血活動やさんご保全支援活動等を行い、さらに統合予定の中学校にて薬物乱用防止の講演会を開催したい」と報告があり、長浜村長は「私もライオンズクラブの会員です。これまでのクラブの奉仕活動を評価しており、村としても協力していきたい」と話しました。



サンゴ保全へ 寄付金贈呈

8月10日、ルネッサンスリゾートオキナワの知花総支配人が恩納村漁業協同組合を訪ね、山城正巳組合長に寄付金79,804円を手渡しました。

寄付金は同ホテル開業30周年記念イベントの一環として行った「サンゴ植え付け体験」の参加料と募金を合わせたもので、同漁協への寄附としてはサンゴの村宣言後初めてとなるものです。

知花総支配人は「サンゴやきれいな海、自然といった沖縄の宝を大切にしていきたいと考えています。ぜひ役立ててほしい」と話しました。



左から宮平ディレクター、知花総支配人、山城組合長、比嘉漁協参事

「おんなの駅 なかゆくい市場」が受賞！

県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰

「おんなの駅 なかゆくい市場」を運営する(株)ONNAの當山憲一代表取締役と与儀繁一専務取締役が8月6日、長浜村長を訪ね、県産業・雇用拡大県民運動推進功労者表彰を受けたことを報告しました。

本表彰は雇用の拡大や雇用の質の向上に貢献し、評価された事業所を表彰するもので、本年度は(株)ONNAを含む3企業と1個人が表彰されました。

報告の中で當山代表取締役は「村民会社を目指して運営してきました。スタッフが安心して働ける環境を徐々に整えてきたことに対し、村、そして県に評価していただけて、大変にうれしいです」と話し、「今後、スタッフそして役員も一丸となって、より環境のいい職場を目指していきたい。そして、それが出品される農家の皆さんにも良い効果を広げていきたい」と話しました。

當山代表取締役の報告に対し、長浜村長は「村民会社としての取組が認められたことは、村としても喜ばしいことであり、誇りでもあります。今後も引き続き、村民に、地域に役立つ会社として頑張ってください」と祝福しました。

(株)ONNAはこれまでに県青少年育成ネットワーク活動功労や県ちゅうらさん運動防犯活動功労等の表彰も受けました。



恩納村人財育成へ寄附！

6月28日、株式会社国吉設計の国吉真春会長と国吉清一社長より、恩納村教育委員会へ30万円の寄附がありました。

村長と教育長は「村の人財育成に有効に活用させていただきます」との感謝のお礼がありました。



左から 當山教育長、長浜村長、国吉清一社長、国吉真春会長

ふれあい給食

7月10日、山田中学校でふれあい給食が行われました。

今年も「おんなの駅 なかゆくい市場」を通じて、村の特産物であるパッションフルーツ1,200人分が村内幼稚園、小中学校の給食に提供されました。それに合わせて、山田中学校でふれあい給食が行われ、生産農家、おんなの駅職員が生徒たちと交流を行いました。



恩納村の言語地図について（中間報告）

恩納村史「言語編」専門部会 副部長 西岡 敏

琉球列島には、人が住んでいる島がおよそ50あり、それぞれで異なる言葉が話されてきました。その異なりは、島と島との間だけではなく、島の内部、集落と集落との間にもありました。「しまくとぅば」とは、海に囲まれた島の言葉のみならず、「シマ」、すなわち、「集落」「村」「生まれ故郷」を指す言葉でもあります。その「しまくとぅば」は、老年層のみが使う言葉となり、若年層では「話す」ことはもとより、「聞く」こともできない人々が増えていると言われています。こうした状態は「危機言語」（消滅の危機に瀕する言語）と呼ばれ、2009年、ユネスコが、琉球列島において、「奄美語」「国頭語」「沖縄語」「宮古語」「八重山語」「与那国語」の6つの言語を「危機言語」として指定しています。現在、「危機言語」の状態から脱するために、沖縄県をはじめとして、各市町村において様々な取り組みが行われています。

現在、恩納村史編さん委員会でも、言語部会において『恩納村史 言語編』の執筆を進めており、恩納村における伝統的な方言の記録・保存を進め

ています。恩納村の方言は、先ほどのユネスコの分類で言うと、ちょうど「国頭語」と「沖縄語」の境界部に位置しており、村内における各集落の方言がどういった特徴を持っているかについては、研究者も注目するところとなっています。

『恩納村史 言語編』では、現在、恩納村を中心とした「言語地図」を作成中です。「言語地図」とは、ある単語の語形が、各地域でどのように違って言うのかを地図の中に落とし



「水」の言語地図

共通語の「ず」は「ジ」という発音になることが多くなっています。「沖縄語」に属する首里方言では「ミジ」と言いますし、この言語地図でも多くの地域で「ミジ」という語形が出ています。ところが、見過ごしてならないところがあります。それは、「ミズ」「ミジユ」「ミツウ」と「ず」が「ジ」になっていない地域で、恩納村では、恩納・瀬良垣をはじめとする一部に地域に見られます。それだけではありません。言語地図を良く見ると、「ず」が「ジ」にならないところは、金武町や宜野座村の地点にも多く見られます。すなわち、この「ず」から「ジ」へ変化する特徴は、現在ある市町村の境界をまたがって、この地域一帯に広がっていると

とができるのです。この地域において、ウ段がイ段へと変化しない傾向は、「ず」のみならず、「つ」「角」の「つ」などや「す」（煤の「す」など）に対応する単語でも見ることが出来ます。

「水」から、今度は、動詞の「飲む（のむ）」を採り上げてみましょう。「飲む」の語形は、「ヌムン」という地点と、「ヌミン」という地点があります。「ヌムン」は「沖縄語」の首里方言と同じ語形で、多くの地点に分布していますが、「ヌミン」もそれに負けず劣らず、比較的多くの地点に分布しています。「水」の分布と似ていて、恩納村の恩納・瀬良垣という地区が「ヌミン」、併せて、金武町や宜野座村も多くの地区で「ヌミン」と言っています。

また、恩納・瀬良垣地区以外の恩納村の地区でも「ヌミン」が、割合と広がっています。

「言語地図」におけるこれら共通する部分については、いったいどんな要因が考えられるでしょうか。おそらくこれらの地域的な共通性は、恩納村間切の一部が1673年に分離独立する前、金武間切に含まれていたことが影響を与えている可能性があります。「水」の語形を「ミジ」と言わず「ミズ（ミジユ）」と言ったり、「飲む」の語形を「ヌムン」と言わず「ヌミン」と言ったりするのは、

それらの語形を言う地域が金武間切に属していたことと無関係ではないように思われます。

恩納岳あがた 里が生まれ島 杜も押し退けて
こがたなさな（恩納なへ）
ウンナダキ アガタ サトゥガ んマリジマ
ムイン ウシヌキティ クガタ ナサナ
（恩納岳の向こうは愛しい貴方が生まれた村。山も押し退けてこちら側にしたい。）

恩納村が誇る女流歌人、恩納なへ（ウンナナビ）の詠んだ琉歌として知られていますが、この琉歌は、恩納岳による「遮断」の歌ではなく、恩納岳を仲立ちとした「交流」の歌と見るべきだと言っている研究者もいます。恩納なへには、恩納村から見て恩納岳の向こう側の金武に、松金（マチガニ）という恋人がいたという伝説がありますが、そもそも恩納と金武の間で互いに「交流」を禁じられていては、恋人になるといふことすら困難でしょう。上記の単語（水・飲む）に見られる語形の地域的な共通性は、現在では別々の市町村等に区切られているけれども、かつては共通の生活圏であったことを示す有力な証拠でもあると言えます。

込み、その分布の特徴を視覚的に明らかにしようとするものです。従来の「言語地図」では、この語形を記号化して表すことが多かったのですが、今回の「言語地図」では、単語全体の語形を提示することで、各集落の語形がちどころに一瞥できるような工夫を凝らしています。ここではまだ作成中ですが、名詞から一つ、動詞から一つ「言語地図」を表し、その単語語形の分布が語るところを説明してみたいと思います。

まず、採り上げるのは、名詞で「水」という単語です。この単語を「言語地図」にして分布を見てみましょう。

「沖縄語」「国頭語」の範囲に属する地区では、



「飲む」の言語地図

（沖縄国際大学教授）

サンゴと村の暮らし

世界一サンゴにやさしい村をスローガンに7月21日に「サンゴの村」宣言をしました。今回は、本村の暮らしの中でサンゴとの関わりをご紹介します。

サンゴは、これまで建物や農業、墓関係などいろんなモノに利用されてきました。先史時代にはサンゴが営んだ海の資源である魚や貝類を採集して食料としたり、海からもたらされるモノから生活の道具に利用してきました。

古い民家や建物の礎石にもサンゴを利用したりしています。字富着の御嶽（富着古島遺跡）の中には、建物の礎石と考えられるサンゴが並んで配置されています。

現代でも屋根には漆喰を利用したりしますが、漆喰の材料はサンゴを使用していました。字仲泊の海岸沿いには石灰を作る石灰窯が並んでいたそうです。現在は、県外や国外から石灰石などを手に入れて漆喰の材料としたりしていると聞きました。

農業では、作物をイノシシから守るために猪垣を配置した畑跡が確認されていますが、猪垣にテーブルサンゴを利用したりする事例なども知られています。また、サンゴ石灰岩を用いて、石垣やお墓の材料にしたり、家型の厨子や香炉に加工したりするなど軟らかく加工しやすいサンゴ石灰岩は暮らしの中で多用されてきました。



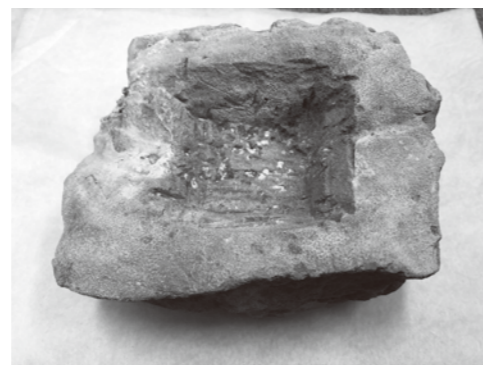
富着の御嶽のサンゴ



谷茶の猪垣



サンゴ石灰岩製厨子



サンゴ製香炉

文化財普及事業としてサンゴに関連した恩納村の暮らしをテーマに展示会を計画しております。多くの村民の皆様がご来館いただきますよう、お願いいたします。

期 間：10月11日(木)～11月11日(日)
(毎週月曜日は休館)

開館時間：午前9時～午後5時

場 所：恩納村博物館企画展示室

博物館学芸員実習を行いました!

恩納村博物館では8月7日から17日まで、学芸員資格取得のための博物館学芸員実習生の受け入れをしました。今年度は恩納村出身で、沖縄県立芸術大学の仲嶺夕理彩さんが実習を行い、展示解説や博物館資料の取り扱い、展示作業などに取り組みました。

今回の「学芸員のはなし」は「むらのきおく100」番外編として、実習生の仲嶺さんに博物館の展示資料を紹介していただきます。



実習生の仲嶺夕理彩さん

展示解説実習の様子

簪(かんざし)



方言名でジーファーと言われていました。琉球王国時代、男女ともに常髪に差した髪飾りです。身分や性別によって形が異なり、金、銀、真鍮、べっ甲、木などの素材があり、上流階級は金や銀を百姓はべっ甲や木の簪を差していました。男性用の本簪(写真下)は花型のものを正面から差し、耳かき状の形をしたものが「押差(ウシザシ)」と呼ばれる副簪(写真中央)で後ろから差します。女性用の本簪(写真上)はスプーン状の形をしており後ろから差します。上流婦人は正装時、本簪のほか副簪の「側差(ソバザシ)」を差しますが、百姓は本簪のみです。元服前の男子は女性の本簪を前からも差したりしたようです。現在では琉球舞踊のときなどに衣装と一緒によく使用されています。(仲嶺夕理彩)

博物館講座「メダカを飼育してみよう」参加者募集!

博物館で飼育しているミナミメダカ(通称：リュウキュウメダカ)の譲渡会を開催します。代表的な淡水魚であるメダカの飼育を通して、その生態について学ぶとともに、村内の河川環境や自然環境について考えてみましょう。

開催日時：10月14日(日)午後2時～

内 容：①村内の河川環境や淡水の生きものについての講座 ②メダカの飼育の方法
③メダカの譲渡会(オスメスペアでの譲渡、10組20匹を予定)

※今回譲渡予定のメダカは以前に東村で採集されたものを譲り受け、恩納村博物館にて飼育・繁殖させたミナミメダカです。当日は飼育水と一緒に袋に入れてお渡します。

講 師：後藤法宣(恩納村博物館学芸員)

会 場：博物館1階研修室

対 象：①村内在住の方で、メダカを初めて飼う方。
②以下の「注意事項」を守っていただける方。

定 員：10組(申込多数の場合は抽選、10月10日頃までに電話にて通知いたします)

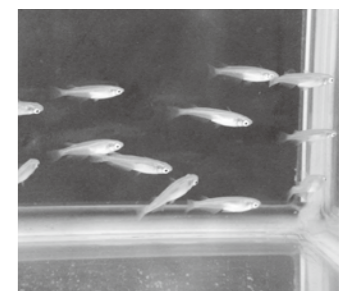
募集期間：9月15日(土)～10月7日(日)

※9月18日、19日、25日、26日、10月1日は休館のため受付できません。

申込・お問い合わせ：恩納村博物館 982-5112

※注意事項※

- ①【生きものは絶対に放流しない】
今回の講座で配布するメダカはご家庭での鑑賞用とし、絶対に野外に放流しないでください。また、可能な限り他の種類のメダカとは分けて飼育するようにしてください。
- ②飼育に必要な器具(水槽など)は各自でご用意ください。
なお、生体の死亡などについては博物館は責任を負いません。
- ③飼育に困ったことがある時は博物館にご相談ください。



第35回

うんなまつり
サンゴの村宣言



▲作品展 ▲小中学校作品展表彰式 ▲サンゴの絵本



▲会場の様子 ▲行列のできる牛汁 ▲3代目恩納ナビー



▲プリズム ▲喜瀬武原青年会 ▲soluna



▲D-51 ▲イクマあきら ▲フィナーレを飾る花火

第4回 美ら海花火大会
10月6日(土)
イベント：17:30～(予定) 花火打上：20:00～
イベント会場：ムーンビーチ特設会場
花火打上場所：前兼久漁港沖
臨時駐車場：赤間総合運動公園、前兼久漁港

「うんなまつり ここから始まるサンゴ村」をテーマに第35回うんなまつりが7月28日、29日の両日、村コミュニティ広場を主会場に開催されました。

28日のオープニングセレモニーに引き続き「サンゴの村宣言」セレモニーがあり、サンゴの村宣言プロジェクト関連表彰式、村長による宣言、サンゴの妖精「Sannaちゃん」のお披露目やくす玉開披を行いました。

当初予定していた21日、22日から台風接近のため順延となり、プログラムの一部に変更があったものの関係者の協力のもと、2日間で19,000人余りの来場がありました。



▲solunaによる「さんごDEマンボ」の歌にあわせて、国立保育所の園児らのダンス ▲オープニングセレモニー



▶大人気の魚つかみ取り



▶サンゴの村フェスタ



サンゴの村宣言

恩納村は、風光明媚な自然環境に恵まれ、穏やかな暮らしぶりとともに国内有数の観光リゾート地として成長してきました。

健全で豊かな自然環境の保全是、村民が健康で文化的な生活を営む上でも重要であり、この恵まれた自然環境を次世代に引き継いでいくことは、私たちの責務でもあります。

私たちは、改めて自然の恩恵なしでは生きていけないことを認識するとともに、自らの生活様式や社会経済活動のあり方を見つめ直し、行政・村民・事業者が一体となった、環境負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、自然環境に優しい地域づくりを目指すため、ここに恩納村を「サンゴの村」とすることを宣言します。

中学校統合推進室通信 Vol.2

6月に中学校統合推進協議会が発足し、各分会で第1回の協議が行なわれました。

◆第1回総務部会(6月12日)

- 校名、校歌、校章、制服等に関することを協議。
- 学校名について**
校名選考の方法を協議し、村民全体への周知も兼ねて学校名アイデア募集アンケートを実施することを決定。(実施期間：7/2～7/21)
- 校歌について**
作詞作曲について、恩納村にゆかりのある音楽家の有無などの意見交換が行われ、今後も継続して協議を行ないます。
- 制服について**
6月に実施した統合中学校開校時中学1年、2年、3年の生徒保護者を対象としたアンケート集計を参考に、協議を進めました。
社会情勢を考慮し、性別に関係なくズボン・スカートなどが自由に選択できる制服や、ノーアイロンシャツなどの意見が出され、今後制服のタイプなど慎重に協議を重ねていきます。

◆第1回PTA部会(6月14日)

- PTA、通学、安全対策等に関することを協議。
- PTA規則、規約について**
各PTAの規則、規約を比較しながら、統合時に円滑な運営のできる組織作りに向け検討を行いました。
- スクールバスについて**
全生徒を対象とした、バスの運行計画について検討しました。今後も継続して、協議が行われます。

◆第1回教育課程及び事務部会(6月21日)

- 教育課程や校則、部活動、統合移転計画等について協議。
- 第1回は協議方針について意見交換がなされ、今後OISTとの連携など特色ある学校作りを目指し協議を進めていきます。

中学校統合推進室のホームページを開設いたしました!

統合に向けての進捗を随時更新いたします。下記よりアクセスをお願いいたします。
【中学校統合推進室ホームページ】<http://tougou-onna.strikingly.com>



お問い合わせ：中学校統合推進室 ☎966-1209

生涯学習講座 受講者募集!!

◆楽しく子育て教室◆

『ブックトーク&小さなおはなし会』

赤ちゃんへの絵本の選び方や、読み聞かせについてのブックトークと楽しいお話し会

- 日時** 9月4日(火)10:00～12:00
- 講師** 吉山佳子氏・千葉明子氏・田中里英氏(沖縄県子ども読書指導員)
- 場所** 恩納村子育て支援センター
- 対象** 村内在住・在職の保護者と乳幼児
- 定員** 15組 ※定員に達し次第、締め切ります。
- 参加費** 無料

『ママと赤ちゃんのサインコミュニケーション』①(9月、10月の2回講座)

- 赤ちゃんの気持ちがわかる!?
手や指を使ったコミュニケーション
- 日時** 9月26日(水)10:00～12:00(10月 日程調整中)
- 講師** 世古真弓氏
- 場所** 恩納村子育て支援センター
- 対象** 村内在住・在職の保護者と乳幼児
- 定員** 15組 ※定員に達し次第、締め切ります。
- 参加費** 無料

◆生きいき女性教室◆

『ラッピング講座』

気軽に贈り物がしたくなる、すぐに使える簡単アイデア

- 日時** 9月20日(木)19:00～21:00
- 講師** 平安名礼子氏
- 場所** 恩納村ふれあい体験学習センター(紅型教室)
- 対象** 村内在住・在職の女性
- 定員** 20名 ※定員に達し次第、締め切ります。
- 参加費** 200円(材料費/当日徴収)



申し込み・お問い合わせ
社会教育課(比嘉・安永)
☎966-1210

恩納村文化情報センターだより Vol.83

9月の
おすすめ
本

夏の暑さやイベントで疲れた体をリフレッシュ!体を整える本をご紹介します。



季節のからだを整える
おやこの薬膳ごはん

山田奈美/著

あわせて読みたい本

- 『疲れとリストレッチバレックス』 竹田純/著
- 『美しくなる入浴術』 漆畑修/著

10月 イベント

辻村深月トークイベント 読むこと、書くことの幸せ

直木賞受賞作家であり、今年の本屋大賞を受賞した辻村深月氏のトークイベントを開催いたします。受付は今月からです。皆様のご参加お待ちしております。

- 日時** 10月7日(日)
- 開場** 13:30 **開演** 14:00
- 場所** 恩納村博物館1階研修室
- 定員** 150人(先着順)※要受付、定員に達し次第受付終了となります。
- 受付方法** 文化情報センター2階カウンター又は、電話にて受付
- 受付期間** 【村内在住者】9/1～
【村外在住者】9/11～



写真：大坪尚人

●辻村深月プロフィール

2004年に『冷たい校舎の時は止まる』(講談社)で第31回メフィスト賞を受賞し、デビュー。『ツナグ』(新潮社)で第32回吉川英治文学新人賞、『鍵のない夢を見る』(文藝春秋)で第147回直木賞を受賞、『かがみの孤城』(ポプラ社)で第15回本屋大賞第1位となる。

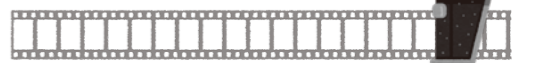
9月 イベント

懐かしの沖縄 8mm映画の記憶上映会

1950～70年代の貴重な沖縄の風景を記録した8ミリ映画を上映いたします。

懐かしの恩納村の風景を見ながら当時のことを語り合ってみませんか。

- 解説** 真喜屋力、仲間公彦
- 日時** 9月15日(土)14:00～16:00
- 場所** 1階 多目的ルーム
- 参加費** 無料



赤ちゃん向けおはなし会

- 日時** 9月27日(木)11:00～
- 場所** 2階 おはなしの部屋
- 対象** 0～2歳とその保護者、ご家族
- ※参加費、受付はありません。当日直接お話の部屋へおこしください。

恩納村文化情報センター 9月 休館日

休館日 3日、10日、18日、19日、25日、26日

資料整理日 20日

【お問い合わせ】
恩納村文化情報センター

●センターに関する情報は、ホームページで確認できます●
〒904-0415 恩納村字仲泊1656番地8
TEL: 098-982-5432 [HP] <http://www.onna-culture.jp>

上下水道課(下水道係)からのお知らせ サンゴにやさしい下水道につなごう

●下水道接続可能地域

喜瀬武原地区、山田地区(山田、真栄田、塩屋、宇加地)、恩納地区(恩納区の一部、南恩納区)

●下水道に接続するには宅内配管工事が必要となります!

各家庭や事業所等が宅内から下水道管に生活排水を流すために、村が管理する公共マスまでの間の排水設備工事が必要となります。

●村からの補助金が活用できます!(工事にかかる費用は村からの補助金が活用出来ます)

○恩納地区(上限30万円)※沖縄振興公共投資交付金効果促進事業補助金含む

○喜瀬武原地区(上限15万円)、山田地区(上限15万円)

※喜瀬武原地区、山田地区は接続推進期限切れのため15万円の補助となります。なお、既設浄化槽の汚泥の汲み取り、撤去及び処分等については個人負担となります。

まずは、下記の排水設備指定業者に連絡!!

工事の見積もり、役場への補助金の申請等も業者が代行してくれます!

事業所名	住所・電話番号	事業所名	住所・電話番号
(有)原電設工業	瀬良垣2505番2 ☎966-8191	(有)新里建設	恩納2531番1 ☎966-8313
當亜電設(同)	瀬良垣824番2 ☎966-2897	(有)向設備	安富祖1848 ☎967-8277
(株)真栄田造園	喜瀬武原314番1 ☎967-8332	(有)丸政設備	仲泊880番地 ☎965-2762
(有)又吉重機建設	山田1305番地 ☎964-3247	(有)名城組	山田2384番地 ☎964-3222

お問い合わせ：上下水道課 下水道係 ☎966-1190

恩納村で起業したい方へ 夢を応援します!!

恩納村では、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け、その計画に沿って創業支援を実施しています。

創業希望の方、創業5年以内の方を対象として、中小企業診断士及び税理士による個別相談会を開催。「創業に興味があるけど何を準備したらいいかわからない」「開業したものの当初の計画と違う」等々、創業全般についてご相談に応じます。

窓口は恩納村商工会となりますので、お気軽にお問い合わせください。

対象：村内で創業したい方
村内創業5年以内の方

費用：無料

○9月の専門家相談日程(全日程13:00~17:00)
〈中小企業診断士〉5日(水)、18日(火)、
26日(水)

〈税理士〉13日(木)、21日(金)、28日(金)

場所：恩納村商工会

10月以降の日程については、商工会HPをご覧ください。

【商工会ホームページ】<http://www.onnavi.jp/>

お問い合わせ：恩納村商工会 ☎966-8258

集団健診のお知らせ

■9月11日(火) 総合保健福祉センター

受付時間：午前8:30~11:00

※その他の日程、詳細については、「恩納村 健康診査等のご案内」(各家庭に配布されたパンフレットまたはホームページ)をご覧ください。

お問い合わせ：福祉健康課 健康づくり係 ☎966-1207

行政・事業所・村民一体 中小企業者等を支援し より元気な恩納村に!

「恩納村中小企業者・小規模企業者・小企業者振興基本条例」を制定

中小企業者等の振興による地域経済の活性化と雇用の促進、豊かで質の高い村民生活の実現を目的に、「恩納村中小企業者・小規模企業者・小企業者振興基本条例」が6月議会で承認され、制定されました。

村では、行政・事業所・村民一体で、元気な中小企業者等を増やし、地域経済の活性化を目指して、今後中小企業者等の経営安定及び経営革新の促進や、中小企業者等の新事業の創出及び新たな事業活動を支援するなどの施策を実施して参りますので、村民の皆さんの理解と協力をお願いします。

★行政・事業所・村民等それぞれの役割

村の責務	村内の中小企業関係団体等及び村民の理解、協力を得ながら国、県等と連携し、中小企業者等の振興施策を講じる。 村は工事の発注、物品及び役務の調達等に当たっては、予算の適正執行に留意しつつ、中小企業者等の受注機会の増大に努める
学校の役割	学校教育は、中小企業者等と協働して職業に関する理解とキャリア教育の機会を設け、施策の実施に努める。
中小企業者等の役割	自主的な経営基盤の強化に努め、村及び関係機関が実施する振興策を積極的に活用する。また、優れた社会環境づくり努め、村内において生産・加工された物品やサービスの利活用に努めるものとする。
中小企業関係団体(商工会)等の役割	中小企業者等の経営力向上及び改善を積極的に支援するとともに、村が行う中小企業者等振興策の実施について協力する。
大企業者の役割	地域社会を構成する一員としての社会的責任を自覚するとともに、中小企業者等との連携・協力を努め、村産品の消費や村内で提供されるサービスの利用に努める。
金融機関の役割	円滑な資金の供給、経営相談、販路拡大等の支援を行い、中小企業者等の育成及び発展に協力するよう努める。
村民の理解と協力	中小企業者等の振興が村民の生活の向上において果たす役割を理解し、中小企業者等の発展と育成に協力するよう努め、村産品や村内で提供されるサービスの利用に努める。

詳細・お問い合わせ： 商工観光課 商工係 ☎966-1280

『ゆうなカフェ』の開催について

住民の繋がりを大切にしたい居場所づくりとして「ゆうなカフェ」を開催いたします。
情報交換や仲間づくりの場として参加してみませんか?

日時：9月19日(水)午後3時~午後5時
(毎月第3水曜日開催)

場所：恩納村役場 1階ロビー

対象：介護を受けている方、もの忘れが気になる方とご家族

内容：誰でも気兼ねなく集まって、ゆんたくや軽い運動・ゲームなどで一緒に楽しめます。認知症や介護の相談もできます。

◆沖縄県若年性認知症支援コーディネーター「新オレンジサポート室」の相談員も参加します。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ：
恩納村地域包括支援センター
☎966-1207

子宮頸がん・乳がん検診のご案内

日時：9月21日(金)
午後1時30分~2時30分

会場：総合保健福祉センター

持ち物：受診券(ピンク色)

内容：子宮頸がん検診 20歳以上
乳がん検診(乳房超音波検査) 30~39歳以上
(マンモグラフィ検査) 40歳以上

≪次の項目に当てはまる方は担当課までご連絡ください!≫

★**乳がん検診を集団検診会場で受診希望の方**
集団検診会場では受けられる人数に限りがあるため、ご予約が必要となります。

★**20~79歳で受診券が届いていない方**
4月以降に村内へ引っ越してきた方や受診券通知を中断されている方は、郵送されていない場合があります。

★**80歳以上の検診受診希望の方**
受診券は送付されていません。

お問い合わせ：
福祉健康課 健康づくり係
☎966-1207

村の人口

人口	11,055 (+32)
男	5,637 (+14)
女	5,418 (+18)
世帯数	5,254 (+34)
2018年7月末現在	

ご芳志
ありがとうございました。

恩納村社会福祉協議会への寄付者
香典返し

■比屋根 よし子 様
(故 比屋根 良順 様)
10万円

スポーツ大会のお知らせ

- 少年野球大会
日にち 9月8日(土)、9日(日)
会場 赤間ボールパーク・サブグラウンド
- 壮年ソフトボール大会
日にち 9月23日(日)
会場 赤間運動公園

■楽しい健康長寿教室 ~長寿ライフセミナー~

日時 10月5日(金) 午前10時~午後3時
会場 ロイヤルホテル沖縄残波岬
(1階・プレシャスホール)

対象者 75歳以上の後期高齢者医療被保険者
定員 50名(申し込みは先着順になります)
内容 保健・栄養・運動について、後期高齢者の方々に合った健康づくりを応援するセミナーです。毎日楽しく元気に過ごすための体力づくりと食生活を学びましょう。

講師 一般社団法人健康倶楽部 沖縄支部
参加料 無料
持ち物 運動に適した服装、タオル、筆記用具

●当日、直接会場にお越しください。ホテル特製の昼食をご用意しております。
申込期間 8月20日(月)~9月14日(金)
午後4時まで(土・日・祝日を除く)
申込方法 下記の連絡先に電話でお申込ください。
※付き添い等が必要な方については申込の際にご相談ください。
※応募者多数の場合は先着順となります。

お問い合わせ：沖縄県後期高齢者医療広域連合
事業課 保健事業グループ
担当：比嘉、室田、高江洲 ☎963-8013

■平成30年度「夜間農業講座」

野菜の栽培管理から病害虫防除基礎まで農業に関する基礎知識の習得と沖縄の農業への関心を深め、就農意欲の向上を目的とした講座を開設します。

日にち 10月3日(水)~10月31日(水)
毎週水曜 全5回
時間 午後7時~午後8時30分
場所 沖縄県立農業大学校
対象 近い将来農業を目指す方
定員 70名程度
受講料 テキスト代(200円)
募集期間 9月3日(月)~9月25日(火)

申し込み・お問い合わせ：
沖縄県立農業大学校
☎0980-52-0050

■「全国一斉!法務局休日相談所」開設

法務局職員、公証人、司法書士、土地家屋調査士、人権擁護委員が無料で相談をお受けします。相談内容についての秘密は固く守られますので、安心して相談してください。

日時 10月7日(日)
午後1時から午後4時30分まで
場所 那覇第一地方合同庁舎 1階共用大会議室
(那覇市樋川一丁目1番15号)
相談内容 不動産登記、商業・法人登記、人権、相続(遺言)、戸籍、帰化、成年後見、供託など
相談方法 面接(事前予約制)

予約・お問い合わせ：那覇地方法務局総務課
☎854-7951

■公証事務に関連した「無料法律相談」

沖縄公証人役場では、遺産相続問題、遺言、離婚の法律問題で悩んでいる方々の無料法律相談を行っています。

日時 月曜日~金曜日(祝日、年末年始を除く)
午前9時~午後4時30分
※公証人が出張で不在の時もありますので、あらかじめ電話で予約してください。
相談内容 遺言、贈与、金銭貸借、土地建物の売買・賃貸など

予約・お問い合わせ：沖縄公証人役場
沖縄市美里1-2-3 ☎938-9380

沖縄県知事選挙

投票日 **9月30日(日)**
午前7時~午後8時

■期日前投票

期間 9月14日(金)~9月29日(土)
時間 午前8時30分~午後8時
場所 村役場 2階会議室
※期間中、土曜日・日曜日・祝日も投票できます。

お問い合わせ：恩納村選挙管理委員会
☎966-1200

■第28回 恩納村・北海道石狩市 交流事業について

変化の激しい時代を生き抜くためには、郷土の自然や歴史、伝統文化に関心をもち、資質や能力を培う機会の一つとして、隔年毎に北海道石狩市を訪問しています。自然や歴史、文化の異なる石狩市を訪問し、同年代の生徒と交流する経験をさせてみてはいかがでしょうか!

交流期間 平成31年2月14日(木)~
2月17日(日)の3泊4日
派遣対象 原則として、中学校1・2年生を対象とし、次年度石狩市の生徒の民泊受け入れ可能な家庭。

自己負担 1人当たり40,000円
応募期間 9月3日(月)~9月28日(金)
申込用紙に必要事項を記入し、各学校へ提出してください。

お問い合わせ：教育委員会 社会教育課
☎966-1210



■芭蕉布の科学 -芭蕉布展-

沖縄の伝統民芸品である芭蕉布。蒸し暑い沖縄には、イトバショウからできた布(芭蕉布)が欠かせませんでした。その理由が科学によって解き明かされます。みなさん、ぜひお越しください。

日時 8月27日(月)~9月22日(土)
9:00~17:00
場所 OISTトンネルギャラリー
※入場無料・予約不要

ジシムンムポ 日時 9月22日(土)
10:00~12:35
場所 OIST B250

お問い合わせ：沖縄科学技術大学院大学
地域連帯セクション ☎966-2184

■平成31年度 高校育英貸与奨学生 予約採用の募集

内容 平成31年4月に高等学校、専修学校高等課程などに進学を予定している中学校3年生を対象とする奨学生の予約募集

資格 ①県内に住所を有する者の子弟
②中学校3年生で平成31年4月に高等学校、専修学校高等課程などに進学を予定している生徒

※①及び②の条件を満たす者
申込 出願書類を中学校から受け取り、学校が定める提出期日(おおむね9月下旬頃)までに学校へ提出

お問い合わせ：
在学している学校の奨学金担当者

■第34回 やんばるの産業まつり

やんばるを代表する秋のイベントとして、やんばる特産品の展示即売などやんばる自慢が一堂に集結。県外特別出店や各種ステージイベントが盛り山!

日時 10月6日(土)、7日(日)
午前10時~午後7時
※展示は午後5時まで
場所 名護市21世紀の森体育館前駐車場及び屋内運動場
駐車場 名護市民会館及び名護漁港臨時駐車場
(会場までシャトルバス運行)

お問い合わせ：やんばるの産業まつり実行委員会
☎0980-52-2448

■お菓子作りに挑戦しよう!

日時 9月23日(日) 9時受付
9時30分開講式 12時30分閉講式(予定)

場所 県立石川青少年の家
参加費 一人あたり1,000円
内容 パンケーキ&アイスクリーム作り
募集人数 小学生家族8組 20名程度
募集期間 9月11日(火)~9月18日(火)
9:00~17:00
(定員に達し次第締め切ります)

※9月20日(木)以降のキャンセルはキャンセル料500円が発生します。

お問い合わせ：沖縄県立石川青少年の家
☎964-3263

■第42回 北部地区畜産共進会

日時 9月27日(木) 10:30~
場所 今帰仁家畜市場
(今帰仁村字仲宗根678番地)

「北部地区畜産共進会」とは、北部地区の肉用牛等の家畜の改良成果を検証する大会です。

北部地区畜産共進会で受賞した牛は、沖縄県畜産共進会に北部地区代表として出品されます。興味のある方は、ぜひお越しください。

お問い合わせ：北部地区畜産共進会事務局
☎0980-52-7049

■就職フェア

日時 10月5日(金) 13:30~16:00
場所 うるま市役所 大講堂
対象 すべての求職者(予約不要)
参加料 無料
内容 ①未経験・無資格から応募可能な正社員・正社員登用制度有の求人を中心
②応募の前に職場見学の申込が可能
③就職イベント初参加の方も安心。事前の「活用セミナー」にて丁寧にアドバイスします。

お問い合わせ：求人おきなわ
☎862-3200

ボウリング大会（6月10日）ドラゴンボウル



●順位

総合順位	
優勝	谷茶
準優勝	瀬良垣
3位	塩屋

種目別	
2人チーム	谷茶
3人チーム	仲泊
6人チーム	瀬良垣
個人総合	比嘉 有史 (南恩納)

卓球大会（7月1日）村コミュニティセンター



●順位

	男子	女子
優勝	塩屋	山田
準優勝	喜瀬武原	前兼久
3位	瀬良垣	仲泊

バスケットボール（7月29日・8月5日）仲泊校



●順位

	男子	女子
優勝	山田	前兼久
準優勝	塩屋	恩納
3位	恩納	仲泊

国頭郡ソフトボール大会優勝

7月8日、金武町ベースボールスタジアムで国頭郡ソフトボール大会が行われ、6市町村が参加しました。

恩納村チームは順調にトーナメントを勝ち上がり、決勝で宜野座村と対戦しました。

決勝は4-3で競り勝ち、3年連続優勝を飾りました。



恩納100 むらのきおく その九十五



天秤棒（てんびんぼう）

ただの木の棒ではありません。これは天秤棒という両端に荷物を下げて、肩に担いで運ぶための道具です。水を運ぶ際によく使われたので「ミジカタミボー」と呼ばれたり、単に「ボー」と呼ばれたりもしました。荷物を運ぶときには吊るし紐を付けた桶やカゴを下げたり、モッコを下げたりしました。棒の両端には荷物がずり落ちないように釘や木製のツメが取り付けられています。博物館では展示会に合わせ、天秤棒の体験用に一斗缶を使って再現してみました。